

第 5 回日野市指定管理者候補者選定委員会議事要点録

日 時	平成 25 年 8 月 23 日（水）午後 1 時 30 分～午後 16 時 00 分
場 所	日野市役所 4 階 庁議室
出席者	彦谷委員長、斎藤委員、高橋委員、吉澤委員、 渡邊企画部長（副委員長）、楢本総務部長、徳田芸術文化・国体推進担当参事
議 題	<p>日野市市民の森ふれあいホール応募者によるプレゼンテーション</p> <p>1. 本日の流れ、審査手順の説明、補足説明</p> <p>2. 審査 1（日野市市民の森ふれあいホール：D 社） 審査 2（日野市市民の森ふれあいホール：C 社） 審査 3（日野市市民の森ふれあいホール：日野市市民の森ふれあいホール共同事業体）</p> <p>3. 次回の説明について</p>
議題 1	<p>●本日の流れ説明、審査手順の説明</p> <p>事務局（企画調整課）より説明。</p>
議題 2	<p>●審査 1（日野市市民の森ふれあいホール：D 社）</p> <p>事業計画書に基づく追加資料によるプレゼンテーション</p> <p>＝主な質疑＝</p> <p>（質問）湯沢会館について、同施設を利用しているが、その日の内容（催し物）等をお知らせしているのか、稼働率は。</p> <p>（回答）特に毎日こういうことを行っているというのは掲示していない。ニュース等でお知らせしている。稼働率の詳細はわからないが、上がってきている。</p> <p>（質問）湯沢会館について、企画運営しているのはボランティアの方が多いのか。</p> <p>（回答）職員 1 名と非常勤職員 1 名とボランティアで行っている。</p> <p>（質問）共同事業体と運営委員会の関係は。</p> <p>（回答）主に受付等を運営する代表団体、主に教室運営を行う構成団体 a、主に設備等の維持管理を行う構成団体 b、我々の会社 3 社が指定管理として運営していく中で出てくる懸案事項、決めなければいけないことなどを、館長・副館長だけでなく、3 社の担当が集まり運営委員会として決定し、市に相談報告するということで、上部団体ではない。</p> <p>（質問）外部有識者への支払いはあるのか。</p> <p>（回答）代表団体は指定管理者として他にも行っているなので、会社として有識者と契約しており、アドバイスをもらっている。経費として、ここから発生はしない。</p> <p>（質問）自主事業についてほとんどが構成団体 a と同じプログラムではないのか。</p> <p>（回答）構成団体 a で行っているプログラムも組み込まれているが、それ以外、例えば競</p>

技スポーツ等を行うなど、構成団体 a で行っていないことも行う。

(質問) 提案書では文化的なものは構成団体 a でのプログラムをこちらで行うように見えるが、そうすると同じプログラムの内容で、お客さんがどうしてくると思うのか。

(回答) どのような事業を行ったらよいか少しリサーチをした。新しい地域でマンションも増えているので、構成団体 a でおこなっているものでも、やれる、と判断した。料理教室についてはガスではなく電磁調理器なので本格的のものは難しい、そこで、スポーツに必要な栄養食材や、受験生に向けた栄養補助食材などを中心的に据えながら様子を見て、拡大して行きたいと考えている。

確かに、フラメンコ・太極拳・ヨガ等同じプログラムがあるが、これは世の中のトレンドで、きれいな施設でやればもっと伸びる、という発想。

(質問) ふれあいホールはホールなりの理念をまっとうする施設と思うが。

(回答) それプラス、スポーツイベントも考えている。例えば施設を大々的に開放して、その日はこどもから年配の方まで一緒にできる競技を 1 日かけて行い、体力チェックやアスリートを呼んだスポーツ教室など、いろいろな仕掛けを考えている。

(質問) 入場者数の目標 15 万人となっており、結構な人数で、経験されている自主事業をたくさん行っているが、駐車場はそこそこあるが、日野駅、モノレールの駅からも徒歩 15 分位はかかる。施設的にはその点どうなのか。

(回答) アクセス的に、歩いてくるには時間がかかると思うが、チラシを出し、市報に入れるなど当然する。それだけでは人は集まってこない。我々はこの地域で体育館の運営や教室をやらせてもらっているが、そういう場で 1 人 1 人に案内することができ、そういうところから連れてくる事が出来る。いろいろなニーズなど、たくさんの施設を運営しているので、他社さんより自分たちはノウハウが「ある」と考えている。

(質問) 文化事業班長の主な業務は。自主事業にも係っているのか。

(回答) 事業班長と捉えてほしい。いろいろな催しの発案は皆で行いうが、具体化してどのように宣伝するとか、事業の運営についての全般を行う。利用者が来て「このようなことをやりたい」などの提案に対し、専門的な見地で答えられるような人を準備したい。

(質問) 体育指導委員も同様ですか。

(回答) フリー利用者、一般開放日に 1 人でこられる方、ふれあいホールの事業ではチームスポーツというか競技スポーツを行なっている人が多い、卓球やバドミントンなどは 1 人では出来ないの、指導員が相手になったり、簡単なアドバイスを行うなどする役目。また、他の人とマッチング等もでき、ネットワーク作りもできると考えている。

(質問) 収支計画書の中ではこの 2 人の人件費が自主事業でなくトータルの中での運営に

入っている。主な業務が自主事業と言うことだが、自主事業を行うことで指定管理料が上がっていると見受けられる。その辺の整理は出来ないのか。

(質問) 自主事業に係ることもやる、となると人件費については自主事業でも見たほうが良いのではという印象。そうすることによって市が支払う指定管理料が下げられるのではないか。その辺の整理は可能か。

(回答) そこに関してはもう一回精査させていただく。不可能ではない。

(質問) 今年、ふれあいホール受付業務委託を東建社で行っているが、グループで行ったときノウハウの引継ぎ、人的な引継ぎの計画はあるのか。

(回答) 良い人材は残してやっていきたい。

(質問) 体制図から見ると運営は代表団体になるので、構成団体bから会社に移ることもありえるか。良い人材がいると確かに見受けられるので。

(回答) 基本的には、良い人材を移すことも考えている。

(質問) 体育施設管理士等を取得しているなど基準には当てはまっているということか。

(回答) はい。

(質問) 市との連携について、それぞれ市の仕事をしている中で、今の仕事が十分であるか、ということと、今後、どういう形で連携していくのか教えてほしい。現在所管をしているが責任者ときちっとお話したことはない。

(回答) グラウンドの管理では、担当の方とは連携を取らせていただいている。施設ではいろいろな問題が起きているがひとつひとつ解決している段階。今後については、市民の方に迷惑がかからないように行いたい。お金をかければ、きれいになる施設もあるが、それだけではなく工夫すれば、クリアになってゆく施設が多いのでそういうふう発展していけばと思っている。

(質問) 他の施設でのノウハウがあると思うが、外部団体との連携は。

(回答) 体育の振興もありますので、バレーボールのメダリストや卓球のメダリストを呼んで行っている実績はある。

(質問) 受け入れ体制は、大きな大会やイベントなど、どういう管理体制を取るのか。

(回答) 日野市内で総勢 300 名ほど働いている。いつでもではないですが、ポイント・ポイントで人を入れることは可能。イベントがあったときは、うまくコントロールしながら体制を作ることは可能。

●審査2 (日野市市民の森ふれあいホール：C社)

事業計画書に基づく追加資料によるプレゼンテーション

＝主な質疑＝

(質問) 要員体制はいかがか。

(回答) 責任者 1 名、副責任者 1 名、受付 2 名、清掃員 1 名で行う。他に特徴なのがマル

チスタッフを設ける。いろいろなことに融通が利くスタッフを設けており、忙しい時間帯など、例えば清掃が1人では難しい時は清掃スタッフになり、駐車場が忙しいときは駐車場に配置するなど、マルチスタッフを上手に使って運営する。

(質問) 指定管理の実績について、御社が行っている施設とふれあいホールでは、建物の規模とか性質が違うように思うが。

(回答) 他市の温水プールの指定管理を行っているが、温水プール施設と老人福祉施設の複合施設であり、規模的には同程度と認識している。そこには会議室、トレーニング室、スポーツ室という多目的室があり、老人福祉室側にはお風呂や多目的室があり、ふれあいホールと同様のスポーツ施設と集会室との複合施設ということで自信を持って応募した。

(質問) 委託料が少ないように見えるが。

(回答) 提出した資料には受付・清掃が委託料に入っており、今回人件費に入れた。

(質問) 収支計画書について、ざっと見た中で、どうやって会社が儲かるのか心配になっている。会社の収益はどこから上がってくるのか。計画書を見ると会社が儲からないように見える。長くやっていく上で、お互いに利益が出なくてはと思うが。

(回答) この施設を受託したい、という思いがこちらの料金ということで考えていただきたい。我々も会社であるので、ぎりぎりのラインで収支計算をしている。利益をどこで追求するのかということについては、一部、普通清掃と定期清掃の中で、利益を若干のせた。人件費もぎりぎりのラインまで落とした収支計画書となっている。会社の「うり」として、イベントもトータルのことが出来る。このホールで営業して主催者を探してイベント等を行っていただき、そこで利益を目指し、市民に負担をかけない、ということの収支計算ということを理解していただければ。

(質問) 市民主体ということについて、スポーツ団体や文化団体がある中で、市民主体というのは難しいのでは。また、利用率を高めるという中で、自主事業が必要と思うが、自主事業の提案が少ないのでは。

(回答) 提案の中で基礎作りということをあげたが、指定管理者と利用者との信頼関係の基礎を作っていく意味で、指定管理者のあるべき姿は、市民が主体となってい、私たちがフォローをし、且つ、お手伝いしていく。これを目標とし掲げている。当社は、経験値もあり、色々な自主事業を提供するが、将来的にはこういった市民中心の運営を行っていかうという形で考えている。市民ニーズに沿った運営を行う、という趣旨。

(質問) 本来、ふれあいホールは体育館系ですが、料理のスペースもいいものがあるので、そこを使って何かをしようという考えはあるか。過去に料理教室の経験はあるか。

(回答) 料理教室の経験はないが、地産地消の料理教室を開催していきたい。千葉の施設では朝市を行っており、千葉市の JA (農協) と協力し、鍋を皆様にふるまったという事例もある。ふれあいホールではいろいろな食品メーカーを呼び込んで活用して行きたい。

(質問) 高齢者に対する事業というのが載っていなかったが、事業としては難しいという判断か。

(回答) プレゼンテーション資料の 4 ページに「世代別体操教室」というのがある。予防に効果があるということで高齢者の方に非常に人気のある体操で、教室に取り入れたい。また、高齢者の方々にはお願いできるのなら、「語部」となって文化を若い人に伝えていく、といった事業を教室の中で行って行きたい。

●審査 3 (日野市市民の森ふれあいホール：日野市市民の森ふれあいホール共同事業体)

事業計画書に基づく追加資料によるプレゼンテーション

=主な質疑=

(質問) 他市で行っている自主事業について、定員に対しどのくらいの人数が集まっているのか。

(回答) 4 月から始めて、第 1 期が 55%。今回のこちらの提案では 50%とした。なので、「上ぶれ」という話をさせていただいた。

(質問) 事業として収益的には 50%で何とかなるものなのか。

(回答) 「とんとん」。やはり 60%~70%いかないと、収益的には厳しい。ただ、第 1 期としては、上々と考えている。

(質問) こちらの「チラシ」はどのあたりを対象にまいているのか。施設はどのようなところにあるのか。

(回答) 駅からバスで、3 キロ圏内ならばお客様は来るとわかっているの、その 3 キロ圏内に「ピッタリ」まく、という手法をとり、10 万部を配る予定。

(質問) 市の広報のお手伝いはあるのか。

(回答) このチラシ全体をのせるのは難しいので、「何日から、詳しくはホームページ又はチラシで」というご案内。また、コンビニと提携しており、コンビニにも置いている。

(質問) 17 万人という計画と 9 つの施策で、何人というような試算はあるのか。

(回答) 硬めに見た計画で、教室だけで 5 万人、50%で試算して 5 万人ですので、17 万人は最低と考えている。

それと、知名度を上げていくことも必要で、私どもは著名選手を呼んで、たくさんの方を集めて、「ふれあいホールはこういうこともやっているんだ」というのを大切だと思っており、今後の交渉ではあるが、観光協会とのタイアップも考え

ていきたい。

(質問) 人件費で常勤の職員は2名と言うことで解釈してよろしいか。

(回答) かなり少ないというご懸念もあろうかとは思いますが、常勤スタッフと並んで、教室事業が週4、3回あり、こちらのスタッフも私たちと同様で、各居室へのご案内、清掃・片付け、こういうものは教室の講師が担当していく。1週間当たり、必ず時間単位で1人増員されるという運用を考えている。

多数の方が来られたら、私どものスタッフが増えるということで安全管理上のことも、目が行き届くという形になる。

(質問) 収支表を見ると他の経費がそれほど参考値から少なくないように見えるが、委託料など。自主プログラムで人を集めて利益を出していく、収支を改善していくという考え方か。

(回答) 例えば50%の充足というか、人数が集まるかどうか、もし集まらなければ、人件費やその他の経費で持ち出しという、正直なところリスクはあるが、今までの経験から言うと、まず、そこをやっていかないと利用者が増やせない。逆に言うと、それを2回、3回と繰り返すことによって、プログラムの見直し、接客の見直しなど反省を活かしながらPDCAで日々、改善していく、これが必要なことと考えている。

参加者や参加していない方の意見をよりよく聞きまして改善していく。運営について最初から地元の方に100%支持をいただけることはない。コミュニケーションをとりながら、希望を聞きながら、その要望にどこまで答えられるか。不満を聞きながら、それをいかに改善できるか。そういうことが大事なことだと経験を持って学んでいる。実績があるので安心を。

(質問) 今までの実績として、苦情等はあるか。

(回答) 苦情はゼロではない。私どもは苦情と捉えず、要望として捉える。そしてそれを解決していきたいという考え。実績として、初年度と2年目の資料を見ると、一部の施設を除き全て利用者を増加させている。

(質問) これから高齢者が多くなると思うが、空室の活用方法は具体的にどのようなものか。

(回答) 午前中は幼児を主体としたプログラムを行い、空時間を埋めたい。フラダンス・かんたんエアロもある。

午後一番は、高齢者が参加しやすい教室組成を考えている。学校が終わる時間帯は、年少から年中が来られる時間帯なので、この時間帯にこれをやれば必ず「うまる」というような経験則から組成を行っている。

家に帰ってからこれから行こうという時間帯19:30時ごろは、大人のプログラムをやる。という一日の流れ。

(質問) 交通アクセスについて、バスも少なく市内南部地区の人たちがふれあいホールに来るには非常に不便。一般の人たち、自家用車で来られない人たちなど、そういう人たちが利用できるような、交通についての何かPRがあるか。

(回答) ミニバスがまだ交渉できる段階ではないが、これだけの収容人数があるので、子どもを安全に送り迎えしなければならない。これから交渉したい。

(質問) 駐車場の料金機の移設を提案しているが、費用負担は市が行うのか。

(回答) 計画があるのであれば、やっていただきたいが、実は我々でやるつもり。収支計画書の中にも盛り込んでいる。私どもは安全を重視したいので、一番にやらせていただきたい。

(質問) 他の施設をPFIで受けていると思うが、同時期に2つの施設の管理をうけて人的な体制など大丈夫か。

(回答) 時期は少しづれます。きっちり体制は取れる。

(質問) 防災時・災害時の対応はどのように思っているか。

(回答) 多摩川に近いので浸水の可能性はあるのが、まだ、浸水してくるのは考えられないだろうと思っている。震災の時どう対応するかということについては、私どもは常に教育を行っている。今後、日野市の消防署に協力を仰ぐなど、自治会も防災の訓練を行っていくので、協力してふれあいホールで訓練を行いたい。また、隣のマンションもできるので自治会と協力してテント等を入れて行きたい。

(質問) 帳票について、施設系だけでなく運営系、例えば利用者数などにも対応できるか。

(回答) できる。月次報告は、極力写真をつけるというのが私どもの会社では定着している。

(質問) 収支表について、万が一、収支が赤字のような時、それはどういう状況になるのか。

(回答) 負担は、指定管理料以外の負担はない。収支が赤字を出したら、全て我々がかぶるといえるか、それが指定管理者制度です。赤字が出れば全て私どもが負担。無借金で借入金が全くないので財務的にも補える体制。構成員各社は赤字の会社とは組まないという方針なので、それだけの収支を負えると考えている。

議題3

●次回の説明について

事務局（企画調整課）より説明。

～第5回日野市指定管理者候補者選定委員会（日野市市民の森ふれあいホール）終了～